

1 大学入学共通テストを終えて

3年生は、「オミクロン株の急激な蔓延」、「日曜未明に津波注意報の緊急速報メールの配信」、「東大の刺傷事件の影響による警備の強化」と落ち着かない2日間に行われた大学入学共通テスト（以下、共通テスト）を大過なく終えました。共通テストは、2回目は難易度が上がり平均点が下がるという見通しでしたが、まさに、その通りとなりました。しかし、見た目の得点は低く映りますが、どの学校も同じように下がっています。私たちも長年指導してきた感覚を修正し、しっかりと状況を見極めて指導をしてまいります。共通テスト後の1週間に面談の日程を多めに取りました。担任を中心にきめ細かな指導ができたように感じていますし、お子様たちの背中を押すことができれば幸いです。

国立大学は個別（二次）試験での勝負になる様相を呈しています。共通テストから国立大前期日程まで5週間あるので、この時期にじっくりと力を蓄え、もうひと伸びすることを期待しています。第一希望を目標に努力を積み重ねてきたことを大切に、弱気にならずに自分の想いを貫いてほしい、ということをお3年生には伝えています。

2 令和4年度大学入学共通テストについて分析（河合塾、ベネッセコーポレーション）

以下に、河合塾、駿台予備学校・ベネッセコーポレーションの共通テストの分析会で得た情報をまとめました。ウィズコロナ時代で、来年以降もどのような変化があるか読めませんが、参考にしていただければ、と思います。

- ・「学習過程を意識した出題設定」といった特徴的な出題傾向は継続。
- ・初見の資料を授業で学んだ知識と結びつけ、推論、考察する力が問われている。
- ・従来のセンター試験と同様な問題も出題され、学力の土台となる知識・技能の習得、鍛錬が必要な出題がみられた。
- ・東大、医学部医学科を含めても、得点率80%以上の高得点層が激減した。
- ・「文低理高」の傾向。理系全般、法・政治、資格系分野など就職を意識した系統が人気。
- ・医学科→歯・薬への流れ。難関大学の大学内、学部内の難易度が低いとされる募集単位への流れ。
- ・教科負担が少ない大学、難易度が低いとされる学部学科へ志願者が集中する傾向。

→狙い目とされる大学への出願は慎重に。

- ・受験生は、ボーダーラインと自分の位置を再確認する。
- ・体調管理に細心の注意。万一の際は受験大学へ連絡する。
- ・「臆せず行きたい大学へ」

（河合塾、駿台予備学校・ベネッセコーポレーション資料より）

3 2年生に向けて**(1) 「2年生の3学期は3年生の0学期」**

2年生は、12月に繰り下がった修学旅行を終えたタイミングが、「もうすぐ受験生になる」という自覚を促すきっかけになったように思いますが、いかがでしょうか。先日、進路LTとして学年集会を行いました。「2年生の3学期は3年生の0学期」ということで、進路指導主事と学年進路指導担当から、3年生へ向けて自覚を高めるような以下の講話を行いました。

自分を過小評価せず、自分の可能性を追求する学期としてください。また、基礎基本を定着させる時期でもあります。3年生になるまでに身に付けるべき力を見極め、今すべきことを定めてください。

進路指導部としては、2年生の1月というこの時期に進路LTの時間を持たせてもらったことに非常に価値があると考えています。春休みにはスプリングセミナー（3月22～24日）を行います。部活動で忙しい人も多くいますが、積極的に参加して着実に学力を伸ばしてください。

(2) 模試の有効活用

模試が続きますが高い意識を持って取り組んでもらいたいです。先日受験した進研記述模試、1月下旬に受ける全統共通テスト模試、希望者が受験する駿台ハイレベル模試と次から次へと模試があります。模試はやり直しが非常に重要です。できなかった問題を見直し、できるようにする学習をしてほしいと思います。

(3) 進路検討会

3学期早々に2年生学年団で進路検討会を行いました。生徒一人ひとりに具体的な声掛けができるように副担任の先生も含めて、担任と各教科との連携を深め、情報を共有しました。高い希望を持った生徒が多く、模試成績も例年より高いことがわかりました。しかし、刈高生が伸びるのはまだこれからです。わからないことや不安を放置せず、担任の先生などに相談してほしいと思います。「受験は集団戦」として戦える学年になることを期待しています。

4 1年生に向けて

2学期末の学年集会で、学年進路指導担当から、生徒に自信を持たせる内容の講話を行いました。1月中旬には進研模試を受験し、また、進路希望調査を行います。それらのデータを元に2月には1年生の学年団で進路検討会を行う予定です。

1年生の3学期は進路について考える時期です。「中だるみの2年生」とよくいわれますが、高校生活に慣れてきた1年生の3学期から「中だるみ」が始まるとも言われます。進路検討会で情報を共有して、今後の指導に生かしていきたいと考えています。類型選択の決まった1年生には、これから受験に臨む3年生の姿をしっかりと見てもらい、そして入試の流れを体感して2年生での好スタートを切ってほしいです。

5 東大見学会（オンライン）開催しました

冬休みに約10名の本校卒業生である東京大学の学生主催で、東大見学会（オンライン）を行いました。一昨年までは実際に東京大学に赴き、在校生は1、2年生を中心に約40名の希望した生徒が参加しました。内容としては、「東大生による東大キャンパスツアー」、「東大の生活」、「研究室の紹介」、「班ごとの対話」といったものでした。進路指導部の不手際で機器の不調がありましたが、東大の先輩方が非常にうまく対応してくれて、大いに助けられました。また、生徒だけでなく忙しい時期にもかかわらず多くの先生が参加してくれたことが印象的でした。

生徒の声は上々で、有意義な時間が過ごせたと感じています。東大の先輩方の刈高高校に対する母校愛を強く感じました。「東大はいいところだから後輩にぜひ来てほしい」という思いを痛切に感じました。東大見学会以外の進路行事を増やしてほしいとの声も聞きました。来年度以降に企画をしていきたいと考えています。

本校HPに東大見学会のようすを伝えるページがあるので、ご参照ください。

参考資料：河合塾、ベネッセコーポレーション、駿台予備学校各種資料
（文責 進路指導主事 岩崎 達哉）